

竹島小のスローガン
笑顔あふれる
楽しい学校

学校だより

令和3年度 第9号

児童数：225名
筑西市立竹島小学校
令和4年1月24日発行



まとめをしっかりと！

校長 武田 孝彦

新年明けましておめでとうございます。コロナが終息しない中、令和4年が始まりました。朝、元気に登校する子どもたちの姿を見ることができてとてもうれしく思います。家庭及び地域の皆様の温かい心遣いに感謝申し上げます。

さて、暦の上では1年の始まりですが、学校生活では、今年度1年間のまとめをしっかりとし、来るべき次年度の備えをする時期になります。夢や目標の実現に向かって欲張ることなく、こつこつと努力を続けてほしいと思います。始業式でも子どもたちに話したことですが、3学期は、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われています。これは、3学期は、期間が短く、慌ただしく過ぎてしまうことからこう言われています。卒業式や修了式までは残り約40日ほどです。1日1日を大切に過ごし、夢や目標の実現に向かって欲張ることなく、こつこつと努力を続けてほしいと思います。

コロナの感染状況は再拡大していますが、子どもたちが安全・安心に学校生活を送れるように全職員で取り組んで参りますので、保護者の皆様、地域の皆様には今年も温かいご支援ご協力をお願いいたします。

12/5 5年生 ひたちシビックセンター遠足

5年生がリニューアルされたばかりのシビックセンターに遠足に行きました。最新技術などを使用して、科学や宇宙の不思議が体験的に学べるように改修されており、実験コーナーで試してみたり、プラネタリウムを視聴したりと楽しくグループ学習ができました。お天気も良く、眺めの良い屋上で海を見ながらお弁当を食べるなど、素敵な思い出ができたようです。



12/13 3年生 性教育

3年生が「生まれてくるまでの様子」や「命の大切さ」について学びました。自分の命の始まりが針の穴位の大きさだったこと、へその緒でお母さんと繋がり栄養をもらってお腹の中で育ったことにとっても驚いていました。お家の人や周りの方に支えられ、たくさんの愛情をいただきながらここまで成長できたことに気付くことができたようです。お家の方に準備していただいた手紙を真剣に、うれしそうにじっくり読んでいました。



12/21 4年生 校外学習【茨城県警・笠間陶芸】

4年生が社会科「伝統工芸」「暮らしを守る人」について、校外学習で学びを深めました。県警では、指令本部や交通管理センターを見学し、みんなの安全と命を守るお仕事の大切さとお苦勞を学びました。福田陶芸さんでは、笠間焼の工房を見学し、手びねり体験を行いました。子ども達は、マグカップやお皿など、それぞれの作品が2月頃に焼き上がって届くのを楽しみにしています。



12/16 2学期末授業参観

感染症予防のため、学級を地区毎に2班に分けて、2学期末授業参観を行いました。子ども達の学習の様子を参観いただくと共に、各学級の廊下に飾った校内絵画展の作品なども見ていただきました。また、子ども達のより良い成長を見守り、支えていくために、当日は、学校評議員会や家庭教育学級も開催されました。



1/14 書き初め大会

書き初め大会が行われ、各学年みんな真剣な表情で取り組んでいました。低学年は書き方ペンで、3年生以上は毛筆で、1年生『お正月』、2年生『新しい年』、3年生『生きる力』、4年生『元気な声』、5年生『心を開く』、6年生『希望の朝』の文字を書きました。



竹島小の全校集会は、現在どのように行われているでしょう。

①体育館で実施。②放送で実施。③ Teams を利用してオンライン実施。

第8号の答え

科学クラブ、パソコンクラブ、スポーツクラブ、料理・手芸クラブの4つです。

4～6年生が楽しく活動しています。2月には、3年生もクラブ見学をする予定です。